## 協議会の目標:迅速かつ確実な避難を可能にする地域防災力の向上(~概ねR3)

## ■第1回減災対策協議会で決定した主な取組とその状況について

項目	実施年度	備考
・県と市町村のホットラインの構築	H29~	構築済み
・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの策定	H29~	策定済み
・避難情報伝達手段の検討、整備	H29~	各市町村で実施
・要配慮者利用施設における避難確保計画作成に向けた支援	H29~	継続実施
・防災教育(出前講座、自主防災組織に対する研修、避難訓練)	H29~	避難訓練等を継続
・実況雨量に基づく簡易水位予測ツールの活用	H29~	主に各地域振興局で活用
・水位計、雨量計の配置見直しや増設	H30~	177基増設(危機管理型) R1運用開始
・水害リスクの高い箇所の合同巡視	H30~	継続実施
・水位周知河川以外の河川の浸水実績の把握及び周知	H30~	県より市町村へ提供
・最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域の公表	H30~	H31.3.22 三種川が最初
・新たな浸水想定に基づくハザードマップの作成	H31~	随時
・水位周知河川の追加	R2~	R2は熊沢川(鹿角管内)

## ■その他の取組、協議事項

項目	実施時期	備考
平成29年7月、8月豪雨被害状況の確認	H30	
市町村防災担当者アンケート結果共有 (H29.7月豪雨直後)	H29、H30	H29アンケート H30結果検討
「非水位周知河川」における減災対策への取り組み	H30~	
緊急行動計画の改定への対応 (水防災意識社会の再構築)	R1~	土砂災害対策を追加
避難確保計画の作成支援の状況	R1~	国の支援を活用
洪水浸水想定区域図、土砂災害警戒区域の指定状況	R1~	ホームページで公表
危機管理型水位計の運用開始、簡易河川監視カメラの設置	R1~	カメラ47基を新設 R2運用開始
SNSによる秋田版災害情報発信事業について(県総合防災課)	R1~	R1試行運用 R2本格運用

47基新設

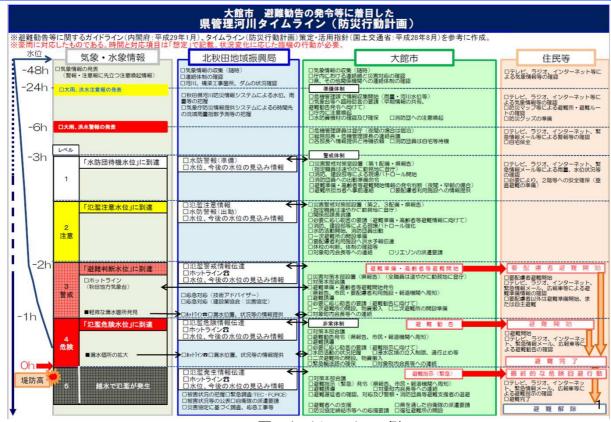


図 タイムラインの例



図 危機管理型水位計の例



図 想定最大規模降雨の浸水想定区域図の例



図 河川監視カメラの例

減災対策協議会取組実績報告

## 県と市町村の合同点検状況

平成30年6月26日 岩瀬川(大館市岩瀬地区)



図 県と市町村の合同巡視の例